

# タクシー会社様向け システム導入のご提案 安否確認通報システム

地域の身近なタクシー会社様に参画して頂くことで身体障害者・高齢者などの交通弱者と言われる方々の手となり足となることにより、地域社会に大きな貢献ができます。

弊社安否確認通報システムの販売代理店になって頂き、本システムを導入されたご家庭の高齢者の生活をバックアップ。基本的には利用者の安否の確認と管理センター業務なので、通常業務に支障をきたすことはありません。何より、本システム利用者の「困り込み」ができるようになりますので、より一層の業務拡大につながります。

**子機 人感センサー**  
人感センサ搭載子機が自動で人の動きを検知して親機に知らせます。  
\*ワイヤレス  
\*複数台増設可

**子機 呼出ユニット (押しボタン式)**  
ボタンを押して電話が欲しいことを親機に知らせます。  
\*ワイヤレス  
\*複数台増設可

無線

スイッチひとつでタクシーを呼べる!!

**親機 安否確認システム本体**  
子機からの受信信号を登録されたメールアドレスに自動的にメールします。正面にはデジタルフォトフレームが取り付けられているので、写真などを見ることが出来ます。携帯電話通信エリア内であればどこでも使用可能です。

インターネット

TAXI会社 (管理センター)

近親者 携帯電話

近親者宅 パソコン

専用監視画面で簡単・一括監視!!

画面と音声で安否確認ができます!!

**管理センター業務とは?**  
メールを随時確認できない方にかわって、管理センターでメール受信の管理を行います。もしもの場合でもご契約者様にかわり、ご登録者に「安否確認が取れない」旨を伝える等、病気・ケガ等に限定した確認行為の手助けを行います。契約者様に替って警察に通報する等の対処行為は警備業法に抵触するため行いません。その他、利用者宅の鍵を預かったり、建物内に入ることや利用者への直接の救出行為はできません。

日常生活の手助けで地域社会に貢献できます。  
\*病院に連れて行ってほしい  
\*買い物に連れて行ってほしい  
\*買い物をしに来てほしい  
など、様々な要件が考えられます。

当社の歩み	1993年9月	茨城県東海村白方に自動制御設計会社として有限会社インターフェース設立 (代表取締役 秋山 公彦)	1998年6月	日本経済新聞・茨城新聞などに「センサーで安否確認」の記事が掲載される
	1996年7月	朝日新聞に「一人暮らしの老人の緊急時の対応や安否の確認を電話回線でするシステムの開発」というテーマで取り上げられる	2011年8月	ひたちなか市新製品等開発事業費補助金交付決定を受ける

本システムは、装置異常監視通報システムとして使うこともできます。

平成23年度ひたちなか市新製品等開発事業費補助金を活用して開発した製品です。

\*ワイヤレスだから親機・子機間の配線が不要です。そのため、配線工事費が掛かりません。

※個人で日常の生活反応を確認する装置であり、警備会社等に通報するためのシステムではありません。  
※FOMA対応監視装置(携帯電話と同様)を使うため、インターネット回線工事が不要です。

<PNL201209042>

製造販売元

**(有)インターフェース**

http://www.mimamori24.com  
FAX.029-285-2006 E-mail info@mimamori24.com

☎029-285-8771  
〒312-0002 茨城県ひたちなか市高野2187-17